



中城



2012-2021

中城村第四次総合計画

基本構想・基本計画（前期）

心豊かな暮らし ～住みたい村、とよむ中城～

心豊かな暮らし

～住みたい村、とよむ中城～ を目指して

青い海と空、豊かな自然、そして悠久の歴史に抱かれる中城村。本村は豊かな自然環境と世界遺産「中城城跡」をはじめとする歴史文化遺産に恵まれ、村民の皆さまのたゆまない努力によって発展を遂げてきました。



しかし、本村を取り巻く社会経済情勢は、決して楽観視できるものではなく、景気の悪化や東日本大震災に端を発する災害等への不安を多くの村民の皆さまがお持ちのことかと推察いたします。

一方で、村内に目を向けてみると、第三次総合計画策定時に設定された計画人口が現実のものとなり、南上原地区においては、都市文化交流拠点としての整備が着々と進められるなど、新たな中城村の発展に向けた基盤整備が着実に進行しているといえます。

このような状況の中、本村においてはこれから10年間の村政運営の指針となる『中城村第四次総合計画』を策定いたしました。

この計画では、『心豊かな暮らし～住みたい村、とよむ中城～』を将来像として掲げ、『「自然・歴史・文化」を受け継ぐ』、『「暮らし」を描く』、『「安全・安心」を築く』という3つを村づくりの基本理念として、村民と行政が協働で中城村の発展を目指すこととしています。

すべての村民が心豊かに暮らしていくために、私たちに求められていることはなんでしょうか。それは、中城村に関わるすべての人たちが力を合わせて村の将来像を描きながら、協働の理念に基づいてまちづくりを行っていくことではないかと思います。そのためには、先人から受け継いだ中城村の魅力や個性をさらに高め、そして新しい中城村の将来像を共有しなければなりません。

今回の総合計画策定に際しては、より多くの村民の皆さんに参画して頂けるように、住民会議を立ち上げて議論を重ねてまいりました。今後もこうした村政への参画機会をできる限り準備し、多くの村民の皆さまの声を聞きながらまちづくりに取り組んでいきたいと思っております。

最後に、第四次総合計画の策定にあたり、貴重なご提言をいただきました審議会委員の皆さま、また中城村の将来に対して、多くのご意見を頂き、また議論を重ねていただいた村民の皆さまや関係者の皆さまに心より感謝を申し上げます。

平成24年3月

中城村長

伊野 浩